

## 学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

学校名	西湘高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・普通科
-----	--------	------------------	---------

### 1 学校のミッション

- 全日制の課程学年制普通科を設置する高校として、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえ、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるよう、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。
- リーダーとして国際的に活躍できる人材の育成をめざし、豊かな情操を培い、社会性を涵養し、個性の伸長を図るとともに、見通しを立て現状を把握し問題解決ができる論理的思考力をはじめとする、これからの時代に求められる資質・能力を育成するための教育に取り組む。
- 科学的に探究するために必要な資質・能力の育成を図る教育活動で培った実績を基盤とし、生徒が自ら課題を発見し解決する力、論理的思考力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めることをめざした不断の授業改善を実施する等、教育活動の充実に取り組む。

### 2 学校教育目標

- 基礎基本を確実に習得するとともに、自発的な学習態度を養い、確かな学力の育成を図り、生徒個々の進路実現を支援する。（学力の向上・学習意欲の喚起・進路指導の充実・探究的な学習の充実）
- 豊かな情操を培い、社会性を涵養し、個性の伸長を図る。（道徳教育の充実）
- 知・情・意・体の調和した発達をとおして、自主自立の精神を涵養すると共にリーダーシップを育成する。（部活動の活性化）
- 規則正しい生活習慣を身につけ、心身の健康の増進を図る。（食育の推進）
- 互いに人格を尊重し、進んで民主的な社会に参加する精神を高める。（シチズンシップ教育の推進）
- 職業観・勤労観の育成をめざしたキャリア教育を推進し、インターンシップの内容の充実を図る。（キャリア教育の推進）

### 3 計画策定時点での課題

- SSHや理数コースの教育活動で培った実績を基盤に、プログラミング教育を推進する必要がある。
- 多くの生徒は落ち着いた環境の中で学校生活を送っているが、メンタル面での課題を抱えた生徒が増加傾向にある中で、組織としてサポート体制を充実させる必要がある。
- 将来を見据えた進路について積極的に考え、自分の実力をさらに伸ばそうという意識づけをするよう学校全体で取り組む必要がある。
- 地域等と連携した教育活動をさらに推進していく必要がある。
- 事故の未然防止に向け、教職員間の情報共有や業務の円滑な推進に向けた組織改善が必要である。

#### 4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<p>①論理的な思考力を養い、主体的・対話的で深い学びを実現する指導をする。</p> <p>②教育課程の実施状況を評価し、その改善を図る。</p> <p>③プログラミング教育を通して論理的に考え、自ら課題解決できる力を育成する。</p>	<p>①生徒が学習の見通しを立て、学習内容の確実な定着のために、復習機会の充実を図る。</p> <p>②よりよい教育課程実施のために、人的・物的な資源を確保し活用する。</p> <p>③各教科の授業の中にプログラミング教育の要素を取り入れ育成を図る。</p>
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<p>①生徒情報の全職員での共有化を、教育相談コーディネーターを中心としてはかり、教育相談体制を充実させる。</p>	<p>①生徒情報の共有化のために、生徒情報交換会を年に3回開催する。</p> <p>①教育相談コーディネーターを中心に、SC・SSWを含めた教育相談体制を整え、サポートデスクや平時の悩み相談等に対応する。</p>
3	進路指導・支援	<p>①生徒が主体的に進路を開拓できるような仕掛けをし、変化の早い社会に柔軟に対応できるような能力を育む。</p> <p>②生徒自ら進路について考えるための情報を、教員が生徒より先回りして支援できるような、進路に関する教員のスキルアップをめざす。</p>	<p>①LHR・総合的な探究を含む様々な場面で「社会」とのつながりを意識できるような仕掛けをし、主体的な選択を支援する。</p> <p>②教員向けの研修会・情報発信を積極的に行い、職員が進路情報にアクセスしやすい情報発信を行う。</p>
4	地域等との協働	<p>①様々な場面で地域及び外部機関と連携した教育活動を展開し、生徒の学びを深める。</p> <p>②防災意識を高める機会を提供し、地域に信頼される学校作りを推進し、地域に貢献する。</p>	<p>①生徒や保護者のニーズにあった研修会や講座を企画し、その内容を広く発信していく。</p> <p>②日頃から防災に関する情報を提供し、防災訓練などを通して適切な初動体制がとれるように支援する。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①教職員の働き方改革を推進し、会議の効率化をはかる。</p> <p>②業務についてはダブルチェックを行い、不祥事防止に努める。</p>	<p>①稟議等を活用するとともに、事前に関係部署と連絡調整を行い、効率的に会議を行う。</p> <p>②研修会等をとおしてマニュアルの内容について職員で情報共有を図る。</p>